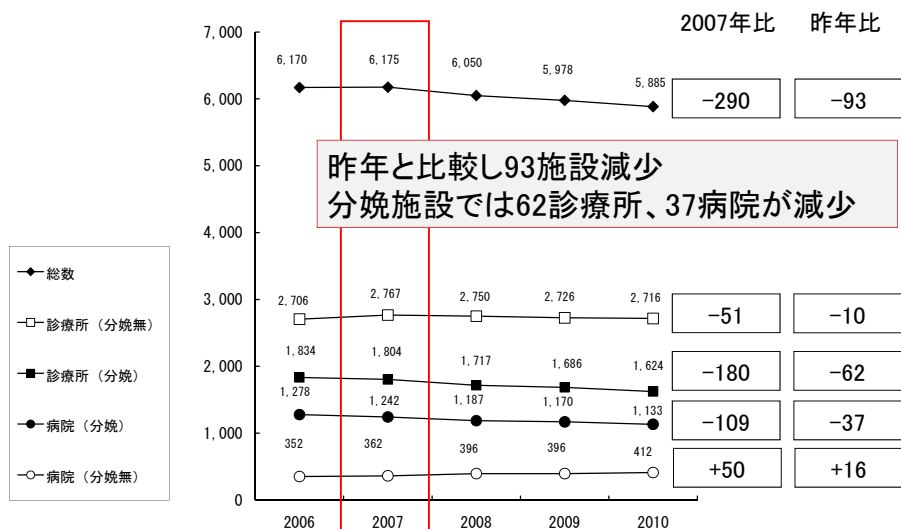


# 産婦人科勤務医の待遇改善と 女性医師の就労環境 に関する 2010年アンケート調査報告

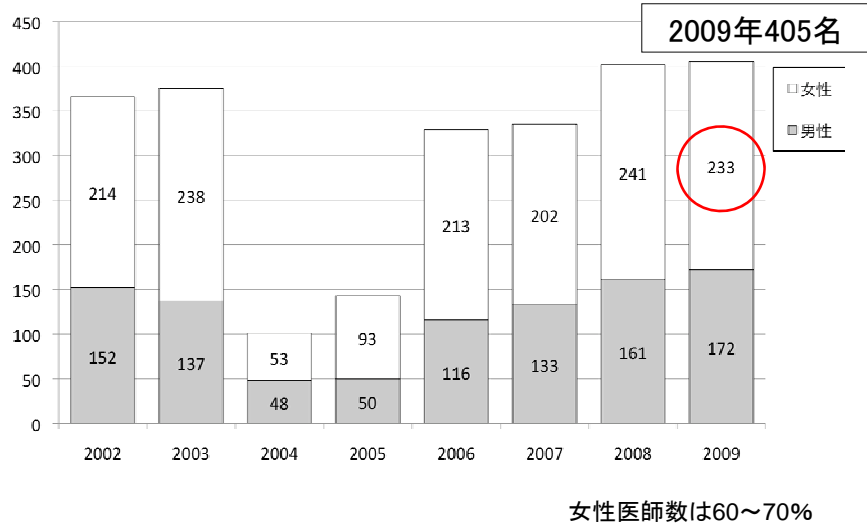
日本産婦人科医会  
勤務医部会  
関口敦子・中井章人

産婦人科施設数の推移

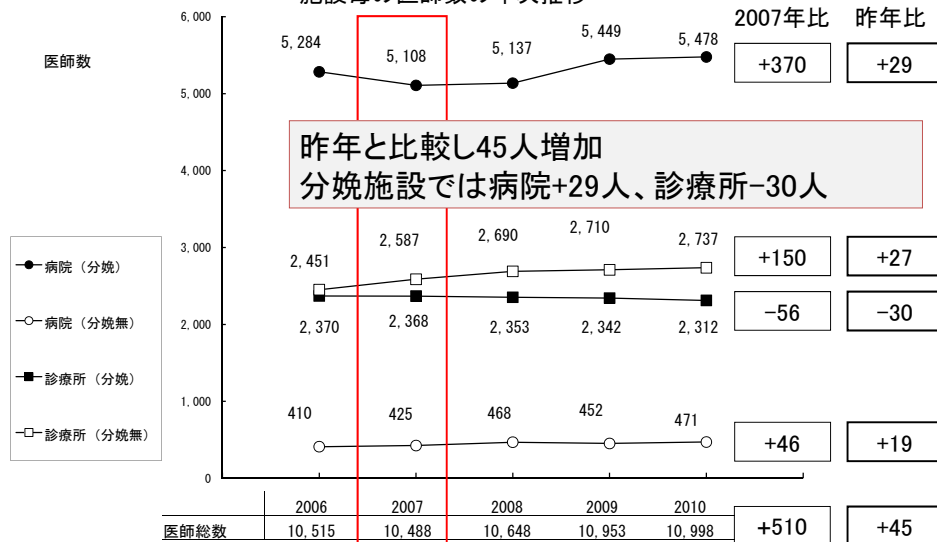


日本産婦人科医会施設情報調査2010.1

### 日本産科婦人科学会 新入産婦人科医師数 2009年9月30日現在



### 施設毎の医師数の年次推移



日本産婦人科医会施設情報調査2010.1

## 産婦人科施設数と医師数

2007年より総施設数は減少つづく  
分娩取扱い病院・診療所は減少

2007年より産婦人科医師数は上向き  
分娩取扱い病院の医師数も増加傾向  
しかし昨年からは不変

## 今回のアンケート調査

- ・2007年より毎年施行(本年4回目)
- ・対象:分娩取り扱い病院 全1,142施設  
(全国分娩取り扱い施設から有床診療所を除く)
- ・回答 769施設(67.3%)
- ・調査規模  
年間分娩数 383,221件(本邦の約35%)  
常勤医師数 4,217名  
(日本産科婦人科学会員の27%、総臨床医師数の38.3%)

# I 勤務医の勤務条件は改善しているか

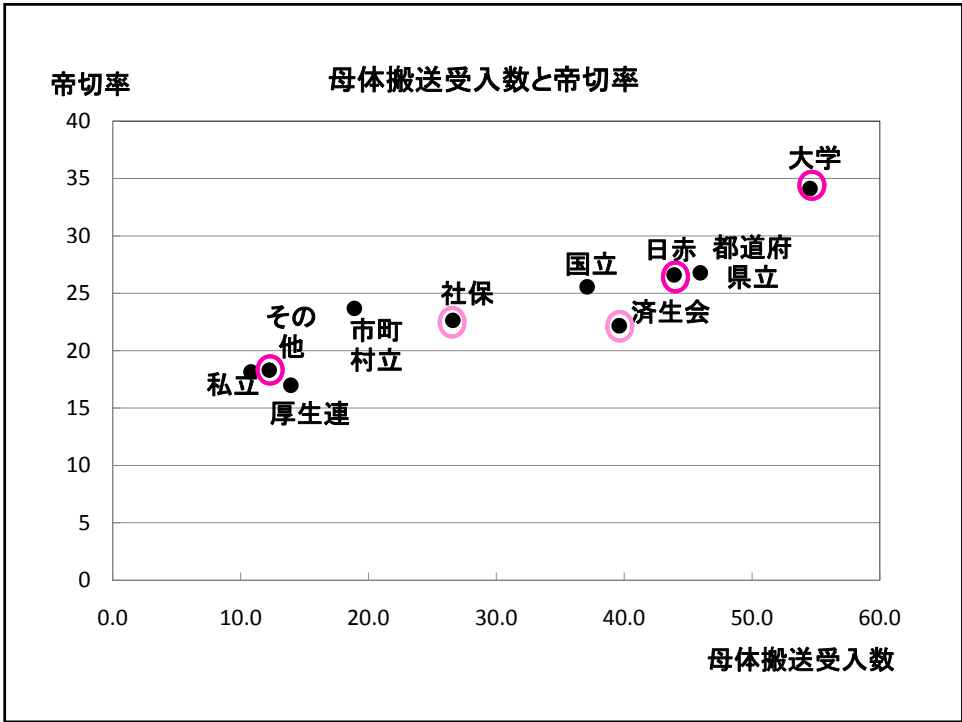
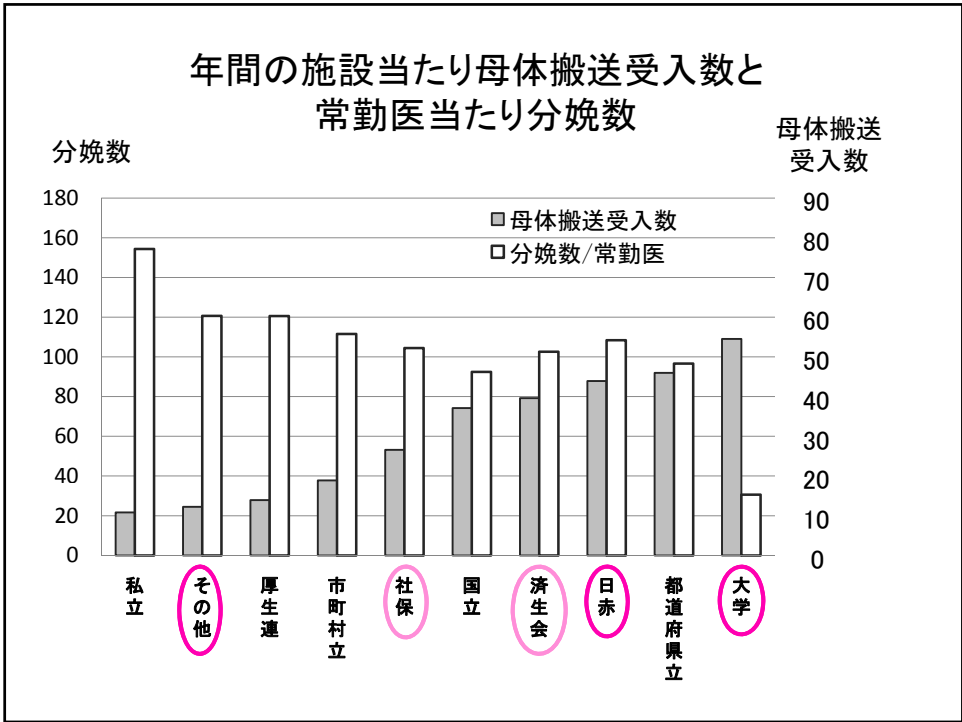
- ① 分娩数
- ② 勤務時間
- ③ 当直(回数・睡眠時間・翌日勤務)
- ④ 手当

## 本調査の施設数および医師数・分娩数

	2007年	2008年	2009年	2010年
対象施設	1,281	1,177	1,157	1,142
有効回答	794 (62.0%)	853 (72.5%)	823 (71.1%)	769 (67.3%)
調査常勤医師数	3,601	4,121	4,626	4,217
常勤医師/施設	4.5	4.9	5.6	5.5
非常勤医師/施設	1.5	1.9	1.9	1.9
分娩数/施設	446.3	474.8	499.8	498.3
/常勤医	98.4	98.3	88.9	90.9

※ 常勤医師数: 総合周産期母子医療センター13.3人、地域7.1人、一般4.1人

・施設数は3年で139施設(10.9%)減少→1施設の分娩数は52件増加、昨年から不変  
 ・1施設の医師は3年間で1.0人増加→1人の分娩数は7.5件減少、昨年から不変



### 常勤医師の勤務待遇

	2007年	2008年	2009年	2010年
1週間の勤務時間	—	52.1	51.6	49.5
当直 1ヶ月の回数	6.3*	5.9	6.0	6.3
合計睡眠時間	—	4.7	4.8	4.8
翌日勤務緩和	58(7.3%)	142 (16.7%)	156 (19.0%)	156 (20.3%)
1ヶ月推定勤務時間	—	317	317	313
手当 当直料増額	73(9.2%)	124(14.5%)	144(17.5%)	130(16.9%)
分娩手当	61(7.7%)	230(27.0%)	339(41.2%)	416(54.1%)
特別手当	41(5.2%)	110(12.9%)	143(17.4%)	154(20.0%)
ハイリスク還元**	5(0.6%)	66(7.7%)	39(8.2%)	42(9.5%)

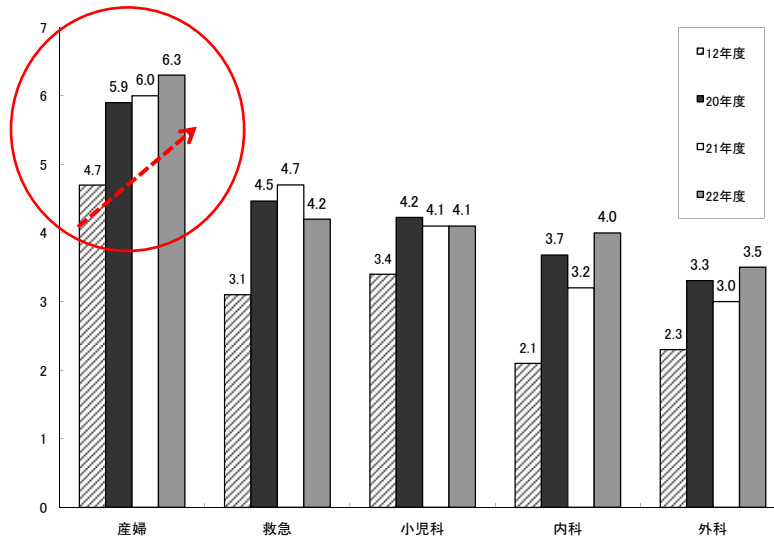
\*2006年度定点調査より換算 \*\*ハイリスク加算の請求がある施設における頻度

- ・1週間の勤務時間は若干減少なるも当直は依然増加、1ヶ月推定勤務時間不変
- ・諸手当支給率は微増、分娩手当のみが半数に到達

### 勤務時間と平均当直回数(1ヶ月間)

	1週間の勤務時間	1ヶ月の当直回数	当直合計睡眠時間	1ヶ月推定勤務時間	翌日勤務緩和(%)	分娩手当支給(%)
施設運営母体による分類						
大学	54.7	5.8	4.4	328.1	11.7	42.6
国立	54.7	4.9	4.6	312.1	13.8	96.6
都道府県立	50.4	6.5	4.3	320.1	21.1	57.9
市町村立	48.9	6.0	4.8	305.7	22.3	61.1
厚生連	50.2	3.8	4.5	276.4	14.3	71.4
済生会	54.3	4.0	4.7	297.2	11.5	84.6
社保	52.0	5.3	4.4	307.2	20.0	73.3
日赤	50.7	5.6	4.6	307.5	32.5	42.5
私立	45.8	7.3	5.2	312.2	22.7	44.8
その他	46.8	7.2	5.1	315.3	21.2	46.9
周産期母子医療センターによる分類						
総合	54.3	6.5	4.1	336.4	39.0	47.5
地域	51.1	5.3	4.4	304.4	21.7	59.4
一般	49.3	6.7	5.0	318.7	17.8	53.1
全施設	49.5	6.3	4.8	313.7	20.3	54.1

### 1ヶ月当たりの平均当直回数の推移



産婦人科の当直は依然増加中、他科の1.5倍

- ・分娩取扱い病院常勤医師数は5.5人、3年前+1.0人、昨年-0.1人。
- ・1施設の年間分娩数は498件で3年前+52件、昨年と不変。  
医師1人あたりでは91件で3年前-7.5件、昨年と不変。

しかし

- ・1ヶ月の当直回数は6.3回と増加中(他科の1.5倍以上)、
- ・推定在院時間は313時間で改善なし。
- ・当直中の合計睡眠時間は4.8時間で不十分なるも、当直翌日の勤務緩和は20%のみ。

一方で

- ・分娩手当支給施設は54%と3年で約7倍に増加。
- ・2006年以降の当直料増額施設は17%。
- ・ハイリスク加算の還元のある施設はわずか10%。

また施設毎では

- ・大学・都道府県立、総合周産期母子医療センターなど勤務条件の厳しい施設の当直翌日勤務緩和率や分娩手当支給率が低い。

常勤医師増加にもかかわらず当直回数が増加した理由  
として推定できること

当直必要回数増加？

・宅直医から当直医へ移行

(現在宅直は42.8%の施設にあるが漸減)

・複数の当直医を置く施設の増加

(総合周産期母子医療センターほか)

当直医師減少？

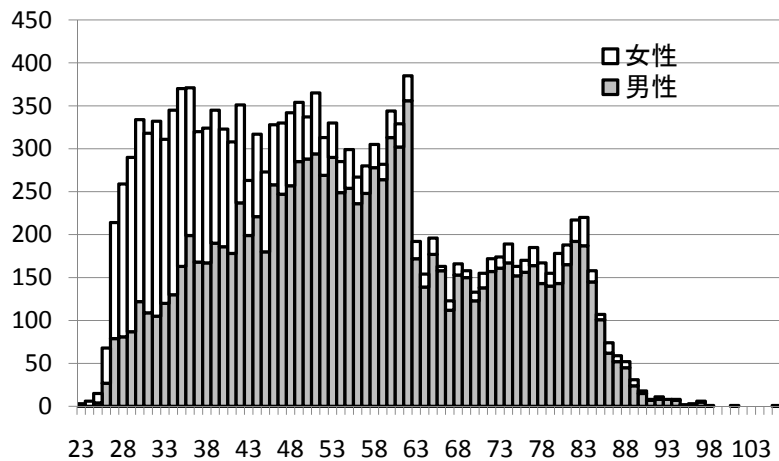
・当直をしない常勤医師の存在

(妊娠・出産女性医師の蓄積増加？)

・非常勤医師による当直の減少

(非常勤医師勤務は主に外来のみ？)

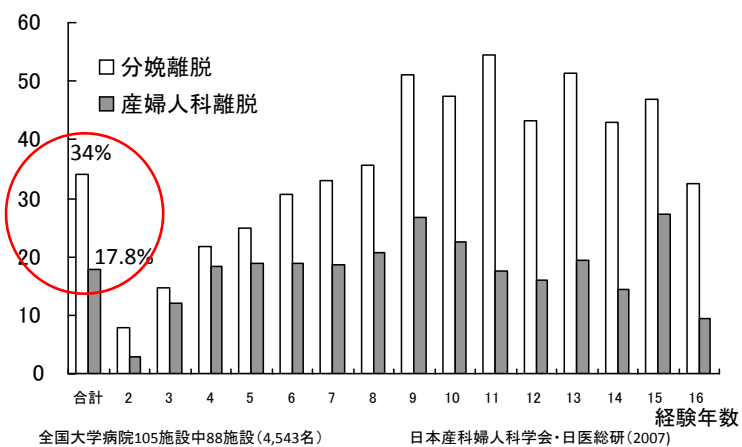
日本産科婦人科学会会員  
年齢別・性別分布 2009年



45歳未満の医師は女性が半数を占める



経験別女性医師分娩取扱いおよび産婦人科離脱率(%)



女性医師の34%は16年目までに分娩の取扱いをやめる

## Ⅱ 女性医師の就労環境は改善しているか

- ① 院内保育所
- ② 妊娠中勤務緩和
- ③ 育児中勤務緩和
- ④ 女性医師の多い施設の現況

### 女性医師と院内保育所

	2008年	2009年	2010年
常勤医師数	4,121	4,626	4,217
女性医師数(%)	1,259(30.6)	1,503(32.5)	1,485(35.2)
妊娠・育児中医師数(%)	413 (32.8)	475 (31.6)	424 (28.5)
院内保育所			
設置施設(%)	399 (46.8)	436 (53.0)	426 (55.4)
病児保育(%)	80 (9.4)	85 (10.3)	92 (12.0)
24時間保育(%)	111 (13.0)	134 (16.3)	135 (17.6)
利用者数(%)*	163 (39.5)	163 (34.3)	172 (40.6)

\* 妊娠・育児中の女性医師における頻度

・女性医師の割合は4.6%増加、妊娠・育児中医師は4.3%減少  
 ・院内保育所は増加、病児や24時間保育は微増のみ

### 妊娠中・育児中勤務緩和(当直軽減)

	2008年	2009年	2010年
妊娠中勤務緩和施設	388 (45.5)	378 (45.9)	359 (46.7)
軽減時期(週)	23.3	22.5	22.0
実績人数	371	442	510
育児中の勤務緩和施設	346 (40.6)	363 (44.1)	338 (44.0)
軽減期間(月)	15.3	17.5	14.7
実績人数	260	350	392

・妊娠・育児中の当直勤務緩和は未だ半数未満  
 ・当直軽減の妊娠週数は僅かに早まる傾向、育児中の当直緩和は約1年3ヶ月

	常勤医師数		妊娠・育児中 女性医師(%)	院内保育所 設置率(%)	妊娠中 当直緩和	育児中 当直緩和
	総数	女性(%)				
<b>施設運営母体による分類</b>						
大学	1,453	542 (37.3)	154(28.4)	71.3	85.1	77.7
国立	148	47 (31.8)	10(21.3)	96.6	62.1	48.3
都道府県立	267	86 (32.2)	✓33(38.4)	49.1	47.4	42.1
市町村立	555	184 (33.2)	✓61(33.2)	53.5	33.8	32.5
厚生連	116	35 (30.2)	7(20.0)	40.0	28.6	28.6
済生会	115	42 (36.5)	6(14.3)	53.8	53.8	46.2
社保	69	25 (36.2)	5(20.0)	46.7	60.0	60.0
日赤	233	95 (40.8)	22(23.2)	62.5	50.0	40.0
私立	799	244 (30.6)	✓85(34.8)	52.2	37.9	38.9
その他	462	185 (40.0)	41(22.2)	46.9	45.1	44.2
<b>周産期母子医療センターによる分類</b>						
総合	787	320 (40.7)	81(25.3)	69.5	78.0	59.3
地域	1,244	473 (38.0)	134(28.3)	69.1	59.4	54.9
一般	2,186	692 (31.7)	209(30.2)	49.3	39.1	38.7
全施設	4,217	1,485 (35.2)	424(28.5)	55.4	46.7	44.0

- ・女性常勤医師の占める頻度は2年で増加(30.6%→35.2%)  
妊娠中・育児中女性医師の割合は減少(32.8%→28.5%)
- ・院内保育所の設置は増加(46.8%→55.4%)
- ・病児保育や24時間保育は微増したが10%台と少数。
- ・妊娠中・育児中の当直軽減も微増したが半数未満。
- ・女性常勤医師は1次施設から高次施設まで幅広く勤務し、  
総合・地域周産期医療センターでも38～40%と多い。
- ・女性常勤医師の多い施設の特徴：  
  妊娠・育児中の割合は少ない  
  院内保育所設置率や妊娠・育児中当直緩和率が高い

## 総括

### 〈勤務医の待遇改善〉

- 1) 分娩取扱病院は依然減少つづく(昨年-37病院)
- 2) 医師は微増、昨年からは不変(1施設5.5人)
- 3) 勤務時間や当直回数は改善なし(313時間、6.3回)
- 4) 当直翌日の勤務緩和は改善あるも低率(20%)
- 5) 手当は分娩手当支給率のみ有意な改善(54%)
- 6) 厳しい勤務条件施設の当直翌日勤務緩和・手当率は低い

### 〈女性医師の就労環境〉

- 1) 女性医師の占める割合は増加つづく(35%)
- 2) 妊娠・育児中医師の頻度はやや減少(29%)
- 3) 院内保育所は増加(55%)
- 4) 妊娠・育児中の当直緩和は微増(40~47%)
- 5) 女性常勤医師は1次施設~高次施設に幅広く勤務